

支部だより

Newsletter No.49

広報委員会

(一社)日本道路建設業協会中部支部

〒460-0003

名古屋市中区錦三丁目7番9号

(太陽生命名古屋第2ビル8F)

TEL.052-971-5310

迎春



目次

支部長新年挨拶	01
幹事長新年挨拶	01
中部地方整備局長新年挨拶	02
道路建設技術講演会	03
舗装施工管理技術者技術講習会	04
アスファルト舗装技術に関する講習会	05
技術委員会【建設技術フェア2014in中部】	06
防災訓練	07
安全委員会【安全パトロール】	08
社会・環境貢献活動【AED贈呈式】	10
中部緊急防災隊【防災隊式典・班長会議】	11
会員だより	12
季節の写真・編集後記	13
道路開通	14

■表紙写真

国土交通省「道の駅」シリーズ
国道21号

可児ッテ

路線名 国道21号

営業時間 9:00～18:00

駐車台数 普通乗用車50台、大型16台、
身障者専用2台

休館日 年末年始(12月31～1月1日)※臨時休業あり

ここがポイント!

可児市周辺の新鮮な野菜や特産品の販売と、それらを活用した飲食コーナー「ナチュラルキッチン」があります。名物は里芋コロッケ。地元産の里芋をサクサクもっちりコロッケにしました。お土産には可児育ちの商品をぜひ!!



駅長からのメッセージ

地元の良さって、近すぎて意外と気が付いていなかったりします。沢山の「いいもの」「いいこと」「いいひと」を道の駅から発信していきたいと思っています。そして、地域の方々が「あそこへ行くと元気になるね!」と思って頂ける、そんな道の駅にしていきたいです。

新年挨拶

新年明けましておめでとうございます。

旧年中、支部会員の皆様には、当支部活動に対し、多大なご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、年末には青色LED開発による日本人3人のノーベル物理学賞受賞等で日本人を奮い立たせてくれる話題が有りましたが、一方では4月の消費税増税による景気の停滞感が各所で感じられます。また、中部地方では南木曾の土砂災害、御嶽山の噴火等、尊い命を奪う災害が発生し、自然の脅威を改めて感じさせられました。

本年は昨年末に行われた総選挙で与党が大勝し、アベノミクスも3年目に入り、その効果が期待されます。一方円安による資機材の高騰や人手不足等懸念材料も存在します。

この様な中、我々道路建設業界はインフラ整備を担う業界として、これらに対応し、発展していく必要があります。当支部としまして、昨年改正された品確法の基本理念である「将来にわたる公共工事の品質確保とその中長期的な担い手確保」等を念頭におき、発注者当局との意見交換の機会を捉え、道路建設業界の意見を主張していくと共に、その実現のため、継続的に活動して行かなければなりません。また本年は当協会設立70周年に当たり、その記念事業の1つとして「中期ビジョン2015の策定」を計画しております。

結びに皆様方のご健勝と、各社のご隆盛を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



支部長

川端 清太

一般社団法人日本道路建設協会 中部支部

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は中部支部会員の皆様方には協会運営に、格別のご理解とご協力を賜り誠に有難うございました。道路業界を取り巻く経済環境は依然厳しい状況にございますが、新しい年を迎えることが出来ましたこと、心より厚く御礼申し上げます。

まず12月14日の衆議院総選挙は与党の圧勝の結果となりました。連立与党主導による引き続きの景気対策に大きな期待をしたいと思っております。

また、11月には本美濃紙(岐阜県美濃市)がユネスコの無形文化遺産に正式登録されました。国際的に評価されたことは、中部地区にとどまらず日本にとっても喜ばしい事であります。

解散総選挙の結果を受け、今年はアベノミクスの真価が問われる年であります。

政府の統計によりますと、26年度は就業者100万人増加、過去15年で最高の賃上げ率等プラス効果がある反面、実質賃金が15か月マイナス、非正規雇用者の増加等マイナス面も顕在化しています。しかしながら、消費税増税は1年半見送られることが表明された事は、新年に向け、経済的閉塞感を払拭する材料になる事と期待します。

我々、建設業界においてもアベノミクス第3の矢である民間活力の力を引き出す成長戦略に牽引され、民間設備投資が増加する事に期待をかけるとともに、公共工事の継続的な発注についても期待をかけたいと思います。

末筆になりますが、協会会員皆様方のご健勝と、会員各社様のご隆盛を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

幹事長

寺林 裕二

一般社団法人日本道路建設協会 中部支部



新年 挨拶



国土交通省
中部地方整備局長
八鍬 隆

平成27年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日本道路建設業協会中部支部の皆様には、旧年中、中部地方整備局の事業の推進に格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は自然災害の多い一年でしたが、長野県南木曾町の土石流災害では、砂防堰堤が整備されていたため、大量の土砂を食い止めることができ、改めて社会基盤の整備の重要性を認識させられました。

また、リニア中央新幹線の工事が2027年の開通を目指していよいよ始まり、中部圏の飛躍的な発展に向けて、地域の期待も大いに高まっているところです。

このような状況を踏まえ、中部地方整備局としましては、今年も、自然災害から地域の安全・安心を守るとともに、「ものづくり中部」のますますの発展を支えるため、道路等の社会基盤の整備に全力で取り組んでいく所存ですので、貴協会の皆様のなご一層のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

結びに、今年の干支の「未(羊)」は、家族の安泰や平和をもたらす縁起物とされています。

今年が、貴協会にとりまして明るく幸多き一年でありますことを心より祈念し、年頭のご挨拶といたします。



平成26年度 道路建設技術講演会



平成26年度道路建設技術講演会を(一社)日本道路建設業協会中部支部主催、国土交通省中部地方整備局後援、(公社)日本道路協会中部ブロック・(一社)中部地域づくり協会・(一社)日本建設業連合会中部支部、(一社)名古屋建設業協会・(一社)日本建設機械施工協会中部支部・中部緊急防災協会の共催をいただき11月11日に名古屋東文化小劇場で開催しました。会場には会員の皆様、官公庁の方々を中心に約300人がご参加いただきました。

開会にあたり、冒頭のあいさつで川端支部長は、「多岐にわたる技術の研さんを図ることで、舗装技術の向上を目的に開催している。講演ではトレンドテーマを取り上げているので、参考にしてほしい」と述べられました。

次いで、(一社)日本建設機械施工協会中部支部情報化施工デジタルガイドブック作成実行委員会の濱田文子委員が「情報化施工技術～現場作業への適用そして効果～」と題し、建設ICTの現場での導入事例を解説。3次元化によって複雑な設計図書を現場に伝えやすくなったことを報告した一方、データを過信せず要所で精度を確認することが重要と指摘されました。

続いて、国土交通省中部地方整備局の森山誠二企画部長は「公共工事執行の最近の動向について」と題し、「中部の地域づくり」をテーマに講演。中部地方でも道路の点検・修繕を適切に実施するため、各県単位

で道路メンテナンス会議が設置されたことなどを紹介されました。

その後、中部大学総合工学研究所の武田邦彦教授が「建設業における環境エネルギーのこれから」と題した講演を行いました。

参加者は熱心に講演に聞き入り、実りある講演会になりました。

舗装施工管理技術者技術講習会



松山技術委員長挨拶

(一社)日本道路建設業協会主催による平成26年度舗装施工管理技術者技術講習会が平成26年9月9日、名古屋市中区の名古屋産業振興公社デザインホールで約180名が参加し、舗装施工管理技術者に対し日進月歩で進展する舗装技術に対応するため、舗装に関する最新の技術やトピックスの習得を目的に6時間に渡り開催されました。

冒頭のあいさつで、(一社)日本道路建設業協会中部支部の松山英吉技術委員長は「舗装工事はその完成品が国民生活に大きく影響のある事業である。急速に進展する舗装技術に見合った知識の習得、技術の研さんが欠かせない。講習会を通じ技術力の向上に役立ててほしい」と述べられました。

講習プログラムは、第1章で国土交通省中部地方整備局道路部の水谷和彦道路情報管理官が「舗装事業をめぐる社会・経済情勢と各種制度」について講演されました。

引続き第2章から第4章までを(一社)日本道路建設業協会が担当し、大林裕環境・安全委員会環境部会委員が「舗装工事における安全確保」、恵藤浩男環境・安全委員会環境部会委員が「建設副産物対策」、二木隆技術委員会委員が「最近の舗装技術の動向」についてそれぞれ舗装に関する最新の取り組みなどを紹介しました。

今回の講習もCPDS認定講習会として5ユニットが付与されました。

アスファルト舗装技術に関する講習会

愛知県アスファルト合材協会 (一社)日本道路建設業協会中部支部

愛知県アスファルト合材協会(川中喜雄会長)と(一社)日本道路建設業協会中部支部(川端清太支部長)は7月9日、名古屋市中区のホテル名古屋ガーデンパレスで「平成26年度アスファルト舗装技術に関する講習会」を開催し会員企業各社より180名の参加があり4時間にわたりアスファルト舗装を取り巻く環境が変化している事に対応した最新技術の講習が行われました。

冒頭、アスファルト合材協会技術管理委員会の難波陽一担当理事は「若い人が魅力を感じ、社会に必要とされる業界にするためには技術の編纂が必要だとの考えを示し、この講習会を通して扱う材料や施工の知識を高める一層の努力をお願いしたい」と呼びかけられ、この後の講習会では4人の講師が下記内容の講習を行いました。



■講師 国土交通省中部地方整備局 道路部
道路管理課長 堀江 勝樹 様

『道路をめぐる最近の話題』

- ・ 中部版 くしの備作戦
- ・ 道路の老朽化対策(メンテナンスサイクル)
- ・ 舗装の長期保障制度

■講師 (一社)日本道路建設業協会中部支部
企画調査課長 伊藤 政夫 様

『アスファルト混合物事前審査制度について』

- ・ 事前審査制度の導入目的
- ・ アスファルト混合物事前審査制度の概要
- ・ 全国の導入状況

■講師 前田道路株式会社 中部支店
技術部部长 浅川 眞二 様

『低炭素アスファルト舗装について』

- ・ 地球温暖化の現状
- ・ 低炭素アスファルト舗装技術の概要
- ・ 中温化アスファルト舗装の概要

■講師 大成ロテック株式会社 事業本部
技術部部长 二木 隆 様

『耐久性向上を目指した舗装技術について』

- ・ バインダや混合物粒度の選定
- ・ ポーラスアスファルト舗装の骨材飛散対策
- ・ リフレクションクラック抑制舗装



最後に質疑応答が行われ、閉会挨拶を(一社)日本道路建設業協会中部支部環境委員会青野俊弘委員長が述べられ講習会が終了しました。

技術委員会

建設技術フェア2014in中部

今回で18回を迎えた「建設技術フェア」が10月29日・30日の2日間、吹上ホールにて開催されました。

オープニングセレモニーでは、来賓者代表の河村名古屋市長・主催者代表の中部地方整備局の八織局長・出展者代表の日本建設業連合会中部支部の片山支部長が挨拶をされました。

両日とも晴天に恵まれ2日間で昨年を上回る11,000人が来場され、181の新技术・新工法の展示や特別講演、屋外では地震や豪雨の疑似体験コーナー、大型重機の操縦体験など活気に満ち、大変盛況な中閉幕しました。

我々道建協のブースは「学生交流ひろば」に設置し、公共性・技術開発・災害復旧等の社会貢献の3点をコンセプトに、訪れた多くの学生に道路建設の必要性をPRしました。



建設技術フェア2014in中部開会式



学生交流ひろばの様子

防災訓練

防災の日(9月1日)防災訓練を実施

中部緊急防災協会(会員数59社)は、9月1日に巨大地震発生を想定した防災訓練を愛知、岐阜、三重、静岡及び長野の5県下5地区で実施しました。

当日は、(一社)日本道路建設業協会 中部支部の会議室に対策本部を設置し、地震発生後の午前9時に役員28名が集合し本部長の指示で防災宣言発令が各地区責任者

に伝達され、16班の班長を中心に緊急用給水タンクの保管場所の確認、点検、清掃、架台組立及び大型土嚢(トンバック)等の備蓄品の点検確認を実施しました。応援活動のための連携体制の確立及び防災力の向上を図る目的で実施され、普段の備えがこの日の訓練にも生かされ指示、報告がスムーズに行われました。



水タンク架台組立

安全委員会

明けましておめでとうございます。

当協会活動の一環であります発注者との合同安全パトロールを直轄工事は北勢愛知県内の新東名高速道路3工区において下記のとおり実施しました。発注者・会員各社の無事故無災害を目標にパトロール結果を反映いたしますので今後も

パトロール報告

1. パトロール箇所

● 平成26年9月17日(水)

- ・平成25年度 東海環状東員付替舗装工事 フジタ道路(株)
- ・平成25年度 東海環状東員大安付替舗装工事 (株)NIPPO
- ・平成25年度 東海環状大安付替舗装工事 大有建設(株)

2. 参加者名簿

国交省中部地方整備局

- 道路部 特定道路工事対策官 森田 耕司
企画部 技術監理課専門員 中谷 剛

北勢国道事務所

- 事業対策官 高橋 仁
建設監督官 北原 幹雄

(一社)日本道路建設業協会中部支部 安全委員会

- 安全委員長 (株)ガイアートT・K 民部 順一
安全委員 戸田道路(株) 粟田 吉典
" (株)ガイアートT・K 大山 泰司
" 大有建設(株) 瀧瀬 茂樹
" 常盤工業(株) 佐々木 清
" 三井住建道路(株) 佐々木 日出幸
" 福田道路(株) 戸井 恒夫
" (株)佐藤渡辺 中江 重夫
" フジタ道路(株) 水口 孝
" (株)ガイアートT・K 山本 勝
幹事長 日本道路(株) 寺林 裕二



国道事務所管内の東海環状自動車道3工区、中日本高速道路側工事は、各現場担当者においてはKY活動等積極的にご協力いただきました。関係各位のご協力をお願いいたします。

パトロール報告

1. パトロール箇所

● 平成26年11月18日(火)

- ・新東名高速道路 豊田舗装工事 大成ロテック(株)
- ・新東名高速道路 岡崎舗装工事 鹿島道路(株)・(株)ガイアートT・KJV
- ・新東名高速道路 豊川舗装工事 大林道路(株)・(株)佐藤渡辺JV

2. 参加者名簿

中日本高速道路(株)名古屋支社

建設事業部	森本担当リーダー
〃	坪田サブリーダー
〃	近藤技師
豊田工事事務所	楠本副所長
〃	水野工事長
〃	小原工務課長
豊川工事事務所	西藤工事長

(一社)日本道路建設業協会 中部支部 安全委員会

安全委員長	(株)ガイアートT・K	民部 順一
安全副委員長	前田道路(株)	藤原 幸夫
安全委員	(株)市川工務店	小林 功和
〃	(株)竹中道路	坂井 桂
〃	北川ビューテック(株)	今井 和昭
〃	地崎道路(株)	武田 秀行
〃	(株)昭建	澤田 三郎
〃	フジタ道路(株)	水口 孝
〃	大有建設(株)	細瀬 茂樹
〃	(株)佐藤渡辺	中江 重夫
〃	(株)ガイアートT・K	山本 勝



道建協の **社会・環境** 貢献活動

AED贈呈式

道建協では、2007年度に「社会・環境貢献活動指針」を策定いたしました。

今年度は活動の一環として「建設技術フェア2014in中部」の会場にて道の駅「花街道付知」(岐阜県中津川市付知町・一般財団法人付知町振興公社 岸郁夫専務理事)にAED(自動体外式除細動器)の贈呈式を行いました。

AEDは公共施設を中心に広く普及していますが、まだま

だ道路関係施設では未設置箇所が多いのが現状です。道建協では08年度から地域社会や道路利用者の安全・安心を確保するため道の駅へのAEDの寄贈を継続して行っています。



AED贈呈式

花街道付知



AED実演講習



中部緊急防災隊

防災隊式典・班長会議

一般社団法人日本建設業協会中部支部(川端清太支部長)の会員を中心に中部5県(愛知、岐阜、三重、静岡、長野県)で道路事業に携わる有志で結成する「中部緊急防災隊」(川端本部長)が7月23日名古屋市名東区のサンプラザシーズズで「中部緊急防災式典」を開催した。式典には中部5県から150人が参加、午前中には各地区の代表者と事務局が班長会議を開催し、各班の要望に対し意見の取りまとめと対応を協議した。

式典では、開催の辞、隊旗入場に続いて、川端本部長が「いかなる災害に対しても今まで培った経験を生かし、緊急連絡体制を強化するとともに資材の点検と、確保を継続し、迅速な対応を図ってほしい」と呼びかけた。

来賓挨拶では、中部地方整備局の水谷和彦道路部道路情報管理官が「中部版くしの歯作戦では3日以内に人命救助のためのルート確保、7日以内に地域住民の生活維持のためのルート確保を目標としている。そのためには豊富な経験と機動力を持つ中部緊急防災隊の協力は不可欠だ。来るべき巨大災害に備え、引き続き協力をお願いしたい」と要請した。

これを受け、日本道路建設業協会本部の長谷川仁環境・安全委員長が「期待される防災隊を目指し、組織の充実を図っていきたい」と決意を述べた。最後に中部緊急防災隊民部順一隊長が綱領を朗読した。



会員だより

バイクの楽しみ

(株)加藤建設 山本 哲也 書

私は、10代の頃より、バイクに乗るのが趣味で今まで色々なバイクに乗りました。この季節にバイクに乗るのは非常に寒いので乗る機会が少し減ってしまいますけど、確かにバイクのツーリングのシーズンは、春がとても気持ちがいいです。でも、冬の冷たい空気を肌で感じることも楽しいですし、途中の休憩の缶コーヒーと煙草がたまりません。これからも、乗る時間が少なくなっても乗り続けていきたいと思えます。



明石のフェリー乗り場にて

バイクのタイプは、アメリカンタイプ、スポーツタイプ、モトクロス等色々ありますが、昔のバイクと最近のバイクの大きな違いは、キャブレター車がなくなってインジェクションのバイクになってしまったことです。排ガス規制が厳しくなって今後は、キャブレター車ができることはないでしょう。最近の若い子は、キャブレターを知らない方もいるかもしれません。



私の愛車です！15年乗っています！

冬になるとバイクが始動しにくくなると、キャブレターのチョークを引っ張ってかけた経験がある年齢の方なら懐かしいんじゃないでしょうか。キャブレターについて簡単に説明します。キャブレターとは、機械式の燃料供給装置です。ガソリンと空気を混ぜて霧状に噴射する装置です。キャブレターは、機械式なので天候や環境により自分で調整しないとエンジンの掛かり具合に変動があります。高い山などにツーリングに行くと気圧の関係で混合気がうまく作れないため、エンジンがかぶり上手く走れなくなります。現在の車は、コンピューターによりその環境に合わせた適切な混合気を作るのでエンジンの始動も一定です。ただ、コンピューターなので誤作動によりまったくエンジンが作動しなくなることもありますけどね。私は、キャブレターの手間がかかるところが気に入っています。今後も、バイクを買うなら、キャブレター車を購入すると思います。みなさんも宜しければ、古き良き時代のバイクに乗ってみるのも面白いと思いますよ。



キャブレターです！

季節の写真

うすべにに

葉はいらはやく

萌えいでて

咲かむとすなり

山桜花

若山牧水



編集後記

平成16年4月に広報委員会に入会し気がつけば早10年。入会時のメンバーで残っているのは小生のみとなりました。

支部便りの編集で最初の仕事が第28号(16.7.1発行)の表紙の写真を撮ってくることでした。写真編集ソフトを買い込み悪戦苦闘しながら仕上げ、厳しい先輩の皆さんの審査をくぐり抜けて何とか表紙を飾ることが出来たのが昨日のようです。

「老兵は死なず、ただ消えゆくのみ」…マッカーサー元帥のようにかっこよく引退したいですが、しばらくは他のメンバーの皆さんに老害と言われないよう自戒しながら過ごす日が続きそうです。

本年度も会員皆様のご支援宜しくお願い致します。

広報委員 福島 薫二

(一社)日本道路建設業協会 中部支部「広報委員会」まで

連絡先

●TEL 052-971-5310 ●FAX 052-971-5375

●ホームページ <http://www.dohkenkyo.or.jp/> ●Eメール chubu@dohkenkyo.or.jp

道路開通

Road opening of traffic

●平成26年11月29日(土)
国道153号伊南バイパス(約0.8km)

石曾根交差点 から 田切中央交差点



▲開通式



◀開通式 祝賀会



※ 開通予定は、標準的な工程を想定した場合の目安であり、今後の予算状況や施工上の条件変化等により、変更があります。



一般社団法人
日本道路建設業協会中部支部